

MASAMUNE-IMR

Materials science Supercomputing system for Advanced Materials simulations towards Nanotechnology-Innovations for Materials Research

日時

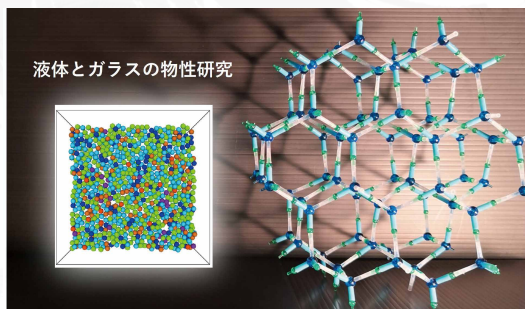
平成30年 **10月19日** (金)
14:00~15:30

場所

**金属材料研究所
2号館 1階ラウンジ**

※ お申込みは不要です。当日はお気軽にご参加ください。

「計算機シミュレーションによる 液体・ガラスの物性研究」



液体とガラスの物性研究

大分大学理工学部 准教授

岩下 拓哉 先生

液体とガラスの物性研究は、今世紀の統計物理学が解決すべき残されたフロンティアである。その中心的課題はガラス転移現象と呼ばれるものであり、液体・ガラス物性に対する無秩序構造がもつ物理的役割を明らかにすることが問題解決への鍵である。

近年の計算機能力の進歩に伴い、計算機シミュレーションは理論、実験にかわる第三の手法として定着しつつあり、液体やガラスの研究でも強力な研究手法となっている。

本講演では、計算機シミュレーションを活用し、どのように無秩序構造と対峙すべきか、どのような考え方が必要なのか、液体およびガラスの物理学構築に向けた取り組みを紹介する。

■ 主催



CCMS

東北大学 金属材料研究所 計算材料学センター

Center for Computational Materials Science

東北大学 金属材料研究所 計算材料学センター

■ 協賛



計算物質科学

人材育成コンソーシアム



ポスト「京」萌芽的課題
「基礎科学の挑戦」

スパコンプロフェッショナル
Supercomputer Professional

No. **16**

■「MASAMUNE-IMR」は国立大学法人東北大学の登録商標です